

2023年5月2日(火)ー6月7日(水)

開園時間=9:00~18:00(せせらぎ館内の作品のみ9:00~22:00) 休館日=5月11日(木) 観覧料=無料

小松宏誠

+

加藤美紗

Kosei Komatsu Studio(MAU)

田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館

東急 東横線・目黒線・多摩川線「多摩川駅」下車 徒歩1分

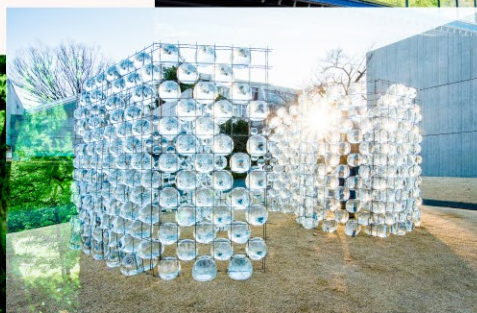
主催=公益財団法人 大田区文化振興協会 共催=大田区 後援=一般社団法人 大田観光協会

協力=田園調布せせらぎハーモニー 問合せ=TEL:03-6429-9851 <https://www.ota-bunka.or.jp/>



光と風の

モバイルスケープ



「はるかぜ」せせらぎを拡散し抜ける展示予定
(写真: 森美術館の森美術館のS展のPhoto: Shin Inaba)

この度の試みは、OTAアート・プロジェクト〈マチニエロカク〉の一環です。大田区の公共空間にアートを仕掛けることで、新たな風景の創出を目的としています。2023年度は、VOL.5として、以下の展覧会を開催いたします。

「光と風のモバイルスケープ」は、田園都市を潤す小さな森である田園調布せせらぎ公園に、モバイルアートと公園の自然現象が融合する風景を新たに創出する試みです。本展アーティスト・小松宏誠は、空気の微細な動きを可視化する人工の羽根で美しい空間体験を与えるモバイルを制作しています。この度は、そのモバイルを用いた新たなインスタレーションをご覧ください。森に広く仕掛けた羽根たちが、風見鶏のように風に遊び、陽光の煌めきを拡散していきます。緑地内に生み出されたモバイルスケープ(Mobile art / Landscape)は、誰もが遊歩道を散策しながら楽しめるアートであると同時に、来訪者が自然の美しさを再認識する装置ともなることでしょう。本展では小松宏誠による新制作の他、せせらぎ館内に「はるかぜ」、公園内に加藤美紗「溢れる」も展示します。

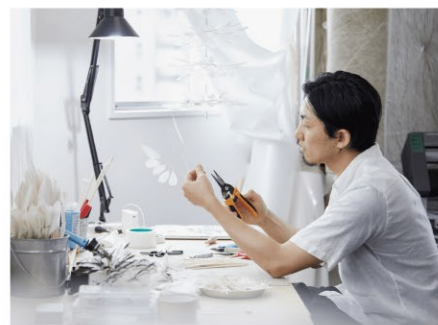


Photo: Hiroshi Wada

小松宏誠 Kosei Komatsu アーティスト

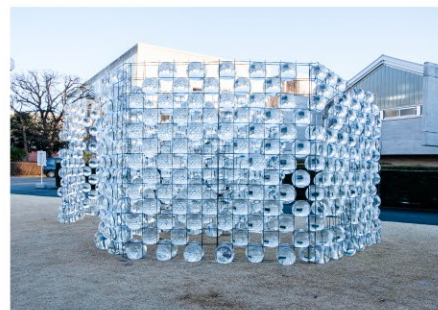
1981年徳島県生まれ、2004年武蔵野美術大学建築学科卒業。2006年東京藝術大学大学院修了後、アーティストグループ「アトリエオモヤ」のメンバーとして自然の物理現象を用いた作品制作を開始。2014年に独立。「浮遊」や「鳥」への興味からはじまり、現在では「軽さ」「動き」「光」に着目した作品を展開中。美術館での作品展示をはじめ、商業施設など大空間の空間演出も行う。2022年武蔵野美術大学建築学科特任准教授着任。

「釜山ビエンナーレ Living in Evolution」参加(2010)。「Wearing Light」ISSEY MIYAKEとのコラボレーション(2014)。「LEXUS Inspired By Design」のCMに作品が起用(2014)。「六本木ヒルズ ウェストウオーククリスマスデコレーション Snowy Air Chandelier」(2014)。この作品がDSA日本空間デザイン賞2015優秀賞を受賞。「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」参加(2015、2022)。「日本博」オープニング・セレモニーにてインスタレーションを担当(2020)。「Kosei Komatsu Exhibition 光と影のモバイル 森の夢」金津創作の森美術館(2022)など。

「溢れる」 加藤美紗 Miisa Kato

武蔵野美術大学建築学科小松スタジオ
Kosei Komatsu Studio(MAU)

1998年生まれ。2023年武蔵野美術大学建築学科卒業(小松スタジオ第1期生)。2023年「2022年度武蔵野美術大学卒業・修了制作展」優秀賞を受賞。



関連イベント

『アーティストと森をめぐろう』

日時 2023年5月20日(土)

①11:00 ②14:00

※雨天延期の場合は、5月21日(日)

内容 本展アーティストである小松宏誠と一緒に、公園内の作品をめぐります。

●集合場所=芝生広場(カフェの向かい側)

●参加費=無料 ●定員=各回20名

●対象者=公園内を1人で歩ける方なら、どなたでも。小学生以下は、保護者同伴。

●参加方法=事前予約制 HP応募フォームから申し込み。

●募集期間=4月13日(木)~5月8日(月) 申し込み



アクセスMAP

東京都大田区田園調布1丁目53-12

東急 東横線・目黒線・多摩川線

「多摩川駅」下車 徒歩1分

